

第2次木津川市地域公共交通網形成計画（案）に係るパブリックコメント実施結果（提出意見及び市の考え方）

- 1 公表期間 2月14日（金）から3月16日（月）まで
- 2 計画（案）に対する意見の提出結果 8人（16項目）
- 3 提出された意見及び市の考え（提出意見については、要約して記載しています。また、計画案の該当場所が示されていないものは空欄としています。）

No.	計画案での該当場所			種別	提出意見	市の考え方	対応
	章	項目	ページ				
1	2 地域公共交通網形成に関わる現状と課題	2.5 公共交通が抱える課題	41ページ	意見	<p>利用客・需要に応じて柔軟にダイヤを変更することが重要ではないか。</p> <p>木津地域を運行するきのつバスでは、3系統とも各地区を細かく回っている影響で各駅・施設を大きく迂回して結んでいるため、ルートを再編し、各駅を直接結ぶルートや市役所・高校を通るルートを増便し、ルートから外れた地域は本数を半減にさせるということも考えるべき。路線を短く切って運行すれば、需要が多い時間帯に細やかに増便することもできるし、運転手の拘束時間も短くできる。</p> <p>また、乗務員不足であるならば、民間事業者に補助金を出し、既存の路線の運賃を木津川市内ならば200円均一にし、民間事業者の路線がある地域のコミバスを廃止する考えもあるのではないか。</p>	<p>ご意見のとおり、利用客や需要に応じてダイヤを変更することは重要であると考えており、本計画に定めた公共交通体系図（P44）を維持しながら、木津川市地域公共交通総合連携協議会（以下「協議会」）で検討してまいります。</p> <p>なお、木津川市コミュニティバスは、市内の住宅地や集落と主要施設・鉄道駅を結び、交通空白地の解消を目的として運行しています。路線バスと比較すると、各地域を細やかに運行するため、鉄道駅までの所要時間が長くなる場合もあります。</p> <p>また、乗務員不足については、公共交通全体の課題と認識しており、交通事業者のみならず協議会や木津川市が協力して支援していくことが必要なことから、「施策1-1 鉄道・路線バス・タクシーの維持・活性化」における新たな取り組みとして「乗務員の確保の支援」（P47）を計画に盛り込んでいます。</p>	盛り込み済
2	5 施策体系	5.2 施策の概要 施策1-2 コミュニティバスの運行	47ページ	意見	<p>民間の企業がバス運行について企画する場合は、当然利用者のニーズがどの辺にあるのかを十分調査し、採算等を考慮し、お互いにハッピーな設計をする。ニーズ調査はされたのか。既得権事業者の路線上で判断されていないのか。</p>	<p>本計画の策定にあたり、令和元年10月28日～11月18日までの期間において5,500人を対象とした市民調査や利用者調査（アンケート）を実施し、コミュニティバスの利用状況や満足度、新規路線導入に対する考え方などを把握し、重点実施施策やコミュニティバスの導入条件等に反映しています。</p> <p>なお、木津川市コミュニティバスについては、交通空白地の解消を目的に、協議会において議論し運行を決定しています。</p>	—

3	5 施策体系	5.2 施策の概要 施策1-2 コミュニティ バスの運行	47ページ	意見	10年、20年を考えると、免許証返納者が大量になり、コミバス利用者（必要者）が格段に増えると予想できる。私の現状でのマイカーでの行先は、市役所、山城病院、買い物（城山台、州見台、梅美台へ等の大型店）が主要項目。先日山城病院へ入院通院が多発し、交通費が2人分で18,000円程度発生した。南加茂台からバス・鉄道を利用し山城病院へ行くのに片道400円は高すぎないか。	ご意見として、お伺いさせていただきます。 なお、民間交通事業者については、採算を考慮し料金設定をしており、市のコミュニティバスの運営についても財源確保が厳しいことから、一定のご負担をお願いしているところです。	—
4	5 施策体系	5.2 施策の概要 施策1-2 コミュニティ バスの運行	47ページ	意見	日本各地で始まっている自動（無人）運転バスのテストを行ってはどうか。	乗務員不足への対応、持続可能な公共交通の構築に向け、自動運転バスの導入は大変重要であると考えておりますが、現時点では完全無人の運行はできず、道路状況や交通事情により運転手の補助が必要など、多くの課題がある状況です。 現在、関西学研都市推進機構が精華西木津地区において、自動運転の実証実験の検討が行われていることから、その経過を注視しながら検討してまいります。 なお、ご意見を踏まえ、「施策2-1 情報提供の充実」における取り組みである「公共交通データ整備及びMaaS等移動サービスの研究・導入」（P50）の内容を次のとおり修正します。 「時刻表・地理的情報などの公共交通データ把握や複数の交通機関を利用して効率的に移動ができるサービス検討を進める。また、学研地域及び先進自治体における自動運転の実証運行の情報収集に努め、必要に応じて導入に向けた検討を行う。」	修正
5	5 施策体系	5.2 施策の概要 施策1-2 コミュニティ バスの運行	47ページ	意見	毎月、市の広報紙を利用し、住民ニーズがどの辺にあるのか調査すべき。利用者の少ない加茂・山城地域だけでも可。	本計画の策定にあたり、令和元年10月28日～11月18日までの期間において、5,500人を対象とした市民調査や利用者調査（アンケート）を実施し、コミュニティバスの利用状況や満足度、新規路線導入に対する考え方などを把握し、重点実施施策やコミュニティバスの導入条件等に反映いたしました。 なお、広報紙におけるニーズ調査の予定はございませんが、「施策1-5 定期的な利用実態の把握」における新たな取り組みとして、「利用動向モニタリングの実施」（P49）を計画に盛り込んでいます。	盛り込み済
6	5 施策体系	5.2 施策の概要 施策1-2 コミュニティ バスの運行	47ページ	意見	コミュニティバスを山城町から祝園駅・精華町へ運行してほしい。（3件）	コミュニティバスの新規路線については、様々な意見・要望を頂いており、一定の基準を定める必要のあることから、新規路線の導入にあたっては、「5.3 コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドライン」における「コミュニティバス新規実証運行の流れ」（P58）に基づき取り組むこととしております。	—

7	5 施策体系	5.2 施策の概要 施策1-2 コミュニティ バスの運行	47ページ	意見	平成19年の合併後、12年が経過したが、市全体の見直しと併せて広域ルート（学研都市病院・近鉄祝園駅等）についても検討願いたい。	平成19年の合併以後、加茂・山城地域のコミュニティバスの再編、各路線の利用者に応じた運行形態（定時定路線からデマンド運行）への移行など地域に応じた運行を行ってきたところです。 「3.1 基本的な考え方」（P42）に記載するとおり、既存の公共交通を大切な地域資源として活かしながら、交通事業者や行政等が協力しながら公共交通全体の利用促進を実施していくことが必要だと考えています。	—
8	5 施策体系	5.2 施策の概要 施策1-2 コミュニティ バスの運行	47ページ	意見	旧町単位のバラバラな運行形態を統一されたい。	「施策1-2 コミュニティバスの運行」（P47）に記載するとおり、現在の利用状況や今後の利用動向により、必要に応じて運行形態の変更を検討してまいります。	—
9	5 施策体系	5.2 施策の概要 施策2-3 乗継利便性の 向上	52ページ	意見	近鉄、JR片町線、奈良線との連携により精華町、京田辺市から山城町、木津町への観光に来られる需要も発掘させると考えます。 少子高齢化に向かうにあたり、交通事業者だけでなくあらゆる施策が、より広域的な連携の施策、実現が求められると考えている。 広域な発想により、早急に研究検討を考えてほしい。	ご意見のとおり、地域公共交通は交通事業者だけでなく、観光・商工・まちづくり等の観点から広く連携が必要と考えており、「1.4 計画の位置付け」に本計画は上位計画である「第2次木津川市総合計画」に即し、「第1次木津川市都市計画マスタープラン」等の関係計画との整合を図ることを盛り込んでいます。	盛り込み済
10	5 施策体系	5.3.1 ガイドライン の目的	53ページ	意見	加茂町大畑や中垣内を経て、加茂駅に運行する1時間に1本のバスを存続してほしいです。	ご意見の路線である当尾線については、「3.2.2 公共交通体系」（P44）に記載している公共交通体系図の中で域内交通として定めており、まちづくりの観点から、地域の都市拠点における機能の維持・向上を図るため、公共交通の維持・確保・充実を推進することとしております。	—
11	5 施策体系	5.3.2 ガイドライン で対象とする 交通手段	53ページ	提案	「主な目的利用を買い物やレジャー等の自由目的とし、」という文言の中に、木津川市への諸業務が含まれているのでしょうか。 木津川市への業務が含まれていないとしたら、明記してほしいと思います。	自由目的には、買い物やレジャーのほか、通院や官公庁への行政手続等も広く含まれております。	—
12				意見	山城→祝園→山田川→木津→山城を巡回する交通網を新たに作ることを提案します。	コミュニティバスの新規路線については、様々な意見・要望を頂いており、一定の基準を定める必要のあることから、新規路線の導入にあたっては、「5.3 コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドライン」における「コミュニティバス新規実証運行の流れ」（P58）に基づき取り組むこととしております。	—

13				意見	城山台～木津駅東口にもコミュニティバスを運行してほしい。	<p>木津川市の公共交通は、鉄道・バス・タクシー等で構築されており、コミュニティバスは市内の交通空白地を解消する目的で運行しています。現在、ご意見の区間には奈良交通㈱の路線バスが運行しており、新たなコミュニティバスの運行計画はございません。</p> <p>なお、コミュニティバスの新規路線については、様々な意見・要望を頂いており、一定の基準を定める必要のあることから、新規路線の導入にあたっては、「5.3 コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドライン」における「コミュニティバス新規実証運行の流れ」(P58)に基づき取り組むこととしております。</p>	—
14				意見	木津駅東西連絡道を拡張し、山田川駅まで運行してほしい。	<p>現在のところ、木津駅東西連絡道の拡張予定はありません。</p> <p>なお、木津駅から山田川駅間については、奈良交通㈱路線バス及びコミュニティバスが運行しています。</p>	—
15				意見	新しい京都チャージングロードにコミュニティバスを運行してほしい。	<p>コミュニティバスの新規路線については、様々な意見・要望を頂いており、一定の基準を定める必要のあることから、新規路線の導入にあたっては、「5.3 コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドライン」における「コミュニティバス新規実証運行の流れ」(P58)に基づき取り組むこととしております。</p>	—
16				意見	J R木津駅、加茂駅、西木津駅、近鉄山田川駅にバリアフリーのスロープを増やしてほしい。	<p>より利用しやすい公共交通を目指し、「施策 1-1 鉄道・路線バス・タクシーの維持活性化」における新たな取り組みとして「鉄道・路線バス・タクシーの運行及び改善」(P47)を計画に盛り込んでいます。</p> <p>バリアフリー面でのスロープ増設については、引き続き交通事業者とのヒアリング時等に鉄道事業者へ申し伝えます。</p>	—